

未来構想 PF 10 周年
—新たな活動に向けて—山本卓朗
未来構想 PF 会長

一般社団法人「未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム」は、2010年秋に設立されてから今年で10年の節目を迎えることとなりました。活動そのものは、個人ベースの手づくりでささやかなものですが、多くの皆さんにご理解いただいて今日まで来たことに心から感謝申し上げます。

国鉄からJRへと組織は激変し、私の仕事も建設から関連事業まで幅が広がりましたが、鉄道の将来計画を考えることが常に頭の中にありました。組織が民営分割されたとき、私の一番の懸念は、JR時代に社会人となった社員が地域JRの事しか考えなくなることでした。たとえJR東日本等の社員であっても、鉄道は全国と繋がっているし、自動車交通や航空を考えた施策は欠かせないわけで、将来計画というものは国全体を視野に入れてなすべきと考えています。当法人を設立するに当たって考えた名称は、鉄道を考える前に交通全体を考えよう、交通を考える前に都市全体を考えようと思ったためです。そのために長たらしい名前になってしまいました。

そしてこのような考えを少しでも伝えたいと始めたのが、現役の皆さんと一緒に“考える”、インフォーマルなワークショップでした。2021年から2018年まで仙台・高崎での実施を含め延べ18回まで来たところでちょっと立ち止まり見直しに入っています。一つはオリンピック対応の仕事が正念場に来たこと、そしてJRとなって30年、IT化が進み仕事の仕組みが国鉄時代と大きく変わってきた事が背景にあります。

もう一つ、法人を作ろうと考えた動機は、諸官庁や研究機関、民間他社との交流でした。国鉄時代は国や地方の機関で、盛んに将来計画を議論する計画研究委員会が実施され、若手技術者の交流と研鑽の場になっていましたが、昨今は情報管理やコンプライアンスなどで、おおらかな交流が沈滞してきたと思いました。そして自分がOB世代になり、インフォーマルな研究会等での隙間を埋めることが出来ないかと考えるようになりました。この10年で前述のワークショップに他機関の方が参加したり、計画・交通研究会の諸先生にアドバイザーとしてご指導を得たり、駅周辺将来構想の研究会を起ち上げたり、多くの事例も重ねることも出来ました。

さて、東日本大震災から10年、今再び新型コロナという激動に見舞われています。まさに試練ですが、奇しくも未来構想PF10周年ということで、当組織もこのあたりで衣替えの時期にきたと強く感じています。

来春には、心機一転、JRはじめ若手の皆さんのご協力を得て、これからの活動を皆さんにご披露できるものと思います。引き続きお付き合いくださいますよう、よろしく願いいたします。

10年の歩み 自主研究WS

未来構想PFでは、WS研修や講演会等をコツコツと継続実施してきました。そのような中、自主研究も行っており、「上野駅周辺将来構想」「高田馬場駅周辺将来構想」「五方面作戦の取りまとめ」を実施、関係者の期待に応える成果を出してきました。

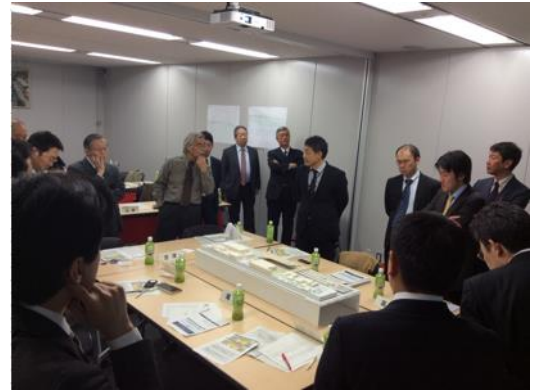
上野駅周辺将来構想 平成 25～26 年度

■テーマ選定の主な理由

23区7副都心の一つに位置づけられているが、他の副都心に比べ、相対的にそのポテンシャルを十分活かし切れていない。東北縦貫線が開通すると東京駅方面の通過駅になるのではとの懸念もある。

■LRT新設、公園口改善、駅改良の3班で検討

■参加メンバー：大学、国交省、東京都、台東区、鉄道、建設、不動産、コンサル、等から約40名が参画

**高田馬場駅周辺将来構想** 平成 28～29 年度

■テーマ選定の主な理由

山手線でも乗降客数で10指に入るターミナル駅でありながら、交通機能・都市機能両面にわたり未だ多くの課題を抱えている高田馬場駅を取り上げた。

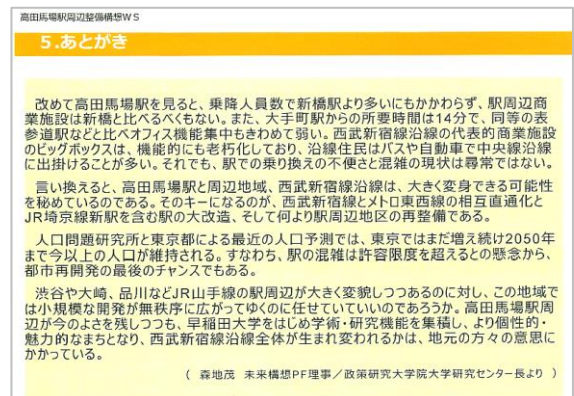
■個性あるえき・まちづくり

えきと沿線まちづくり

鉄道駅サービスの将来 の3班で検討

(西武新宿線地下化で東西線との相直も視野に)

■参加メンバー：大学、国交省、東京都、新宿区、鉄道、不動産、コンサル、等から約40名が参画

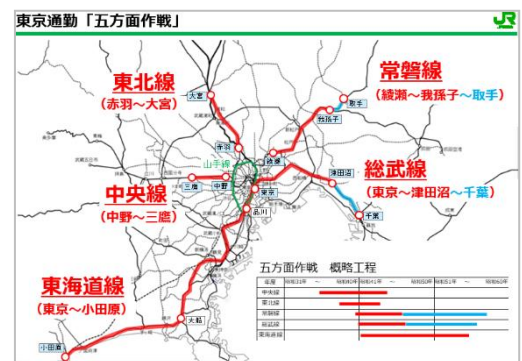
**五方面作戦とりまとめ** 平成 30～令和元年度

■テーマ選定の主な理由

建コン協は、戦後のインフラ整備事業の意義や携わった人々の偉業を広く社会に伝えることを目的に、各種の事業から100プロジェクトを選び「インフラ整備70年」と銘打った連続講演会を開いている。

首都圏輸送改善の代表として五方面作戦が選出され、その取りまとめを行った。

■参加メンバー：大学、JR東日本、鉄建建設、JRC、等から約20名が参画



10年の歩み WS研修

未来構想PFでは、プロジェクトの構想から実現までのフローを理解し、自ら考えることを目的としたWS研修を行っている。これまで18講座約190名が参加、メンバーは入社10年前後の社員10名程度で、1講座6～8回（3ヶ月間）のカリキュラム。駅の将来構想や空港アクセスをテーマにした「鉄道調査計画」を中心に実施しているが、WSには山本代表やベテラン技術者も常時出席してアドバイザー役を行い、不定期だが大学等からもオブザーバー参加頂いている。一日2時間の研修終了後、毎回だが、オブザーバーも参加して会費制の懇親会を開催、研修生にとって研修内容もさることながら、ひざを突き合わせてのこの“雑談”の方が強く印象に残っているようだ。

カリキュラム事例（上野駅の将来構想）

- 第1回WS ・特別講義（山本会長） ・事前学習図書を読んだ感想。
- 第2回WS ・首都圏の都市計画・交通計画の長期的な課題を考慮した上で、鉄道の将来ビジョンをどのように考えるべきか。
- 第3回WS ・駅の基本構想を考える上で重要なことは何か。10項目程度示す。
- 第4回WS ・現在の上野駅を理解する。各自で実際に現地に行って周辺を含み調査し報告を。
- 第5回WS ・上野駅の将来構想をまとめる。
- 第6回WS ・将来構想を踏まえた長期計画（20～30年先を見据えた施設計画）と当面の計画を。
- 第7回WS ・上野駅の当面の施設計画の具体化。
- 第8回WS ・第1回から7回までを振り返り、各自、全体フローを整理（まとめ）。

未来構想PF WS研修一覧表

回	研修テーマ	ファシリテーター	人数	備考
1	池袋駅将来構想	美谷邦章	10	
2	大崎駅将来構想	有川貞久	10	
3	空港アクセス	有川貞久	9	
4	上野駅将来構想	小山 宏	10	
5	八王子駅将来構想	新関 信	12	運政研から2名
6	浜松町駅改良（施工計画）	三輪 渡	9	
7	四ツ谷駅将来構想	前川幸子	12	運政研から2名
8	我孫子駅改良（施工計画）	山崎 淳	10	鉄建から1名
9	首都圏20年ビジョン	堀江雅直	11	H24～25年度 全10回
10	橋本駅改良（施工計画）	岩井有人	10	鉄建から1名
11	首都圏30年ビジョン	山崎 淳	10	鉄道運輸機構・日大から各1名
12	金町駅改良（施工計画）	荒井 洋	9	鉄建から1名
13	将来の鉄道の姿	森 敬芳	10	鉄道運輸機構・鉄建から各1名
14	藤沢駅改良（施工計画）	園田弘世	9	鉄建から1名
15	地域と生きる	野村友哉	15	仙台地区で実施、電気も参加
16	20年後の鉄道の将来像	正能俊輔	10	鉄道運輸機構・鉄建から各1名
17	地方公共交通の将来像	野添孝敬	8	高崎地区で実施
18	東北地方で新規事業、何を？	島兒伸次・村木康行	15	仙台地区で実施、電気も参加

注）参加者の所属先：JR東日本、JR東日本コンサルタンツ、JR東日本建築設計、

10年の歩み 技術講演会

発足以来、定期的に年数回の技術講演会を開催している。講演者は多岐にわたっており、大学からは、森地教授（交通インフラ展望）・轟教授（地域公共交通論）・日比野准教授（米国交通ビジネス）・佐藤滋教授（東日本大震災復興）・岩倉教授（レジリエンス）が、JR関係者からは大梅田地区まちづくり・関西の都市開発と鉄道整備の歩み・JR貨物の現状報告・鉄道マンの都市計画・大震災の話など、OBその他からは第2津軽海峡線と四国新幹線・インド等海外の話・鉄道関連施設や駐車場の歴史など、大先輩の岡田宏さんからは経験談、等々、この10年間で29回開催した。



未来構想PF 技術講演会 一覧表

No.	開催日	講演者	所属	講演テーマ
1	H23.2.10	垂水 尚志	鉄道総研 理事長	鉄道の持続的発展を目指す研究開発
2	H24.2.14	山本 卓朗	未来構想PF 会長	大震災の教訓と技術者の仮題
3	H25.2.21	田中 正典	JIC 社長	日本コンサルタンツの現状について
4	H25.3.25	山本 卓朗	未来構想PF 会長	震災を挟んだ学会活動3年間を振り返って
5	H25.10.29	山本 卓朗	未来構想PF 会長	震災を挟んだ学会活動3年間を振り返って
6	H25.10.31	森地 茂	政策研究院大学院 教授	これからの交通インフラへの展望
7	H26.2.26	熊本 義寛	JR東日本復興企画部長	東日本大震災によるJR東日本の被害と復旧について
8	H26.3.29	山本 卓朗	未来構想PF 会長	大震災から3年間これからの土木・工学を考える
9	H27.1.26	田中 滋夫	都市デザイン 代表	都市計画とまちづくり・これからの都市・地域空間を考える
10	H27.3.3	斉藤 親	JR東日本建工部 顧問	鉄道マンのための都市計画より
11	H27.3.17	田中 滋夫	都市デザイン 代表	復興まちづくりの状況・石巻を例として
12	H27.3.25	土井 博己	未来構想PF 理事	伝えたい先輩たちの言葉
13	H27.11.4	石橋 忠良	JRC 会長	地震被害の復旧と今後の地震対策
		早瀬 藤二	日本貨物鉄道 役員	JR貨物の現状と仮題
14	H28.2.22	山崎 隆司	JIC 社長	海外鉄道プロジェクトの現状
15	H28.3.15	轟 朝幸	日本大学 教授	地域公共交通論 地域と公共交通の維持活性化
16	H28.10.26	白石 浩三	JR東日本復興企画部 次長	東日本大震災後のJR東日本における鉄道復旧の取組み
17	H28.11.16	佐藤 道彦	JR西日本創造本部アドバイザー	大梅田地区のまちづくり
18	H29.2.15	吉川 大三	安藤・間 顧問	第二津軽海峡線と四国新幹線の構想について
19	H29.3.23	日比野 直彦	政策研究院大学院 准教授	米国の交通ビジネスの動向と今後の東京圏の都市鉄道戦略
20	H29.11.6	山崎 隆司	JIC 社長	動き始めたムンバイ・アムステルダム間高速鉄道プロジェクト
21	H30.1.30	五嶋 智洋	東京都都市整備局 担当部長	都市づくりのグランドデザイン
22	H30.3.30	佐藤 滋	早稲田大学 上席研究員	東日本大震災復興に思う～技術の融合と多様性～
23	H30.11.1	小野田 滋	鉄道総研	明治時代における駐車場の概念～新橋停車場から中央停車場へ～
		岡田 宏	元国鉄技師長・鉄建公団総裁	私の経験から「土木工事の品質管理」「海外協力は喧嘩も覚悟で」
24	H30.11.26	岩倉 成志	芝浦工業大学 教授	土木技術者のレジリエンス能力の獲得～山本卓朗、森地茂、只腰憲久氏から学ぶ～
25	R01.05.20	伊東 誠	運輸総合研究所 主席研究員	成長を続ける東京都市圏と鉄道整備の課題
26	R01.10.18	山本 卓朗	未来構想PF 会長	これからの社会とインフラ整備をどう考えるか
27	R01.11.06	武市 信彦	JR西日本 東京本部副本部長	関西の都市開発と鉄道整備の歩みと将来
28	R01.12.11	緒方 英樹	土木学会広報センター	鉄道から発展した日本の近代土木～世界が驚いた「19世紀末の奇跡」とは何か～
29	R2.2.17	細井 優	東京レポートセンター社長	臨海開発とオリンピック招致 <input type="checkbox"/>

10年の歩み 見学会

いろいろな学協会でも見学会を実施されているが、未来構想PFとして、その名のとおり、(未来の)まちと交通と鉄道の繋がりをテーマに開催している。実施した「宇都宮LRT計画ルートを歩こう」「大丸有(大手町・丸の内・有楽町)まちづくり散策」の2例を紹介する。

第1回 宇都宮LRT計画ルートを歩こう

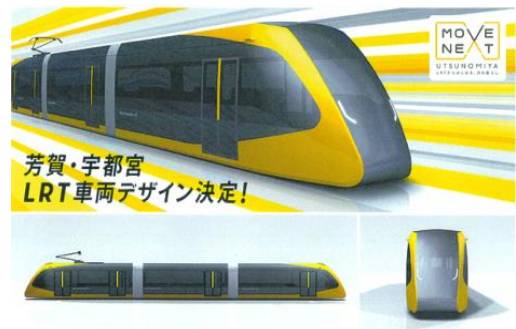
□日時 平成30年11月15日(木)14時～

□プログラム

1. バスでLRT計画ルートを視察 ≒2時間
2. 説明会(LRT計画とこれまでの経緯他)
場所 宇都宮共和大学
講師 宇都宮共和大学:古池弘隆教授、
宇都宮市LRT整備室:野沢純様
3. 参加者 30名

□「LRT計画とこれまでの経緯他」をテーマに、古池弘隆宇都宮共和大学教授や宇都宮市LRT整備室の野沢様から貴重なお話をして頂きました。

終了後はもちろん宇都宮餃子。会費制ですが古池教授も加わり多くの参加者と楽しいひと時を過ごしました。



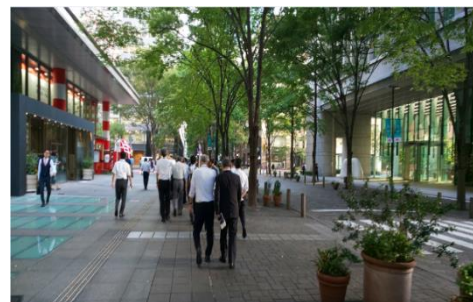
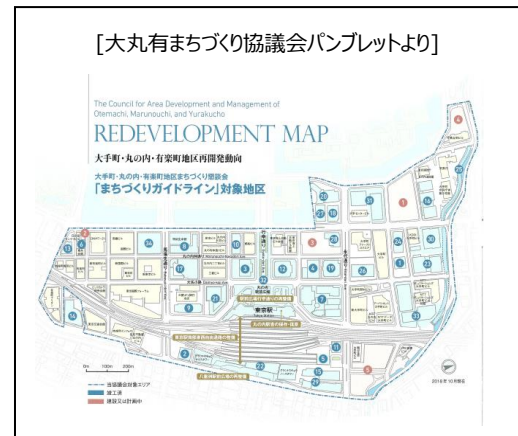
第2回 大丸有(大手町・丸の内・有楽町)まちづくり散策

□日時 令和元年9月26日(木)14:30～

□プログラム

1. まちづくりの概要説明 ≒1時間
場所 3×3 Lab Future
講師 三菱地所株式会社 白根様
2. 大丸有散策(3班に分かれて) ≒1.5時間
3. 説明会場にもどり質疑応答
4. 参加者 24名

□まず「まちづくりの概要」、地下街地下通路の長さが日本一になった等三菱地所白根様から約1時間レクチャー頂き、その後、すっかり変貌した“まち”を、説明を受けながら約1時間半散策しました。



10年の歩み PF通信

未来構想PF発足後3年目からPF通信を毎月メール発信しています。理事や有識者によるトップオピニオン、現役やOBの声、最近のニュースといった記事を中心に取りまとめているのですが、一番の人気はグラフや表で紹介する“国際比較データ”です。都市や交通関連だけでなく、教育や社会生活といったものも取り上げ楽しんで頂いています。

**未
構
P**

**来
想
F**

プラットフォーム通信

第1号
平成25年12月15日発行
(社)未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム

**未
構
P**

**来
想
F**

プラットフォーム通信

第50号
平成30年1月15日発行
(社)未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム

プラットフォーム通信第一号に

一般社団法人「未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム」に設立されましたが、この度遅ればせながらプラットフォームになりました。この3年間の活動として、JR東日本と共同でワークショップ研修を中心に、連携する一般社団法人交流などに取り組んできました。活動そのものは未だ試体であせらず未来構想・ビジョンづくりを視野に、前向きに進んでいます。

インフォーマルなワークショップの活用を
—プラットフォーム通信第50号によせて—

山本 卓朗
(社)未来構想PF会長

明けましておめでとうございます。
プラットフォーム通信が第50号を迎えました。一般社団法人「未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム」を2010年(平成22年)秋に設立してから3年目に第1号を作成し、以来毎月のメール発信を心がけてきました。この間多くの皆様から原稿をお寄せいただき、おかげ様で貴重な資料集となっています。心から御礼申し上げます。

プラットフォーム通信 令和2年(2020年)掲載項目及び執筆者一覧表

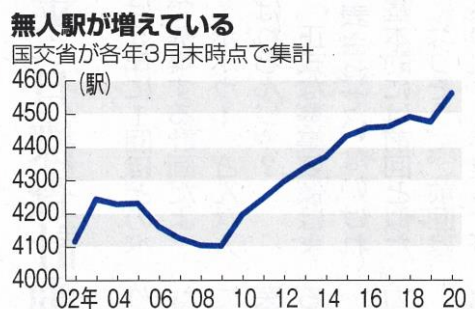
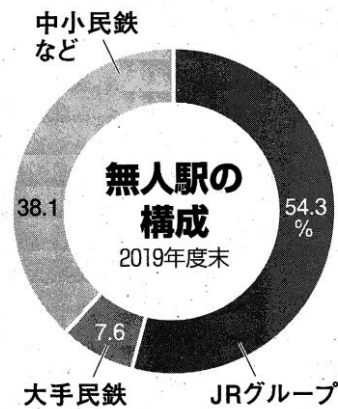
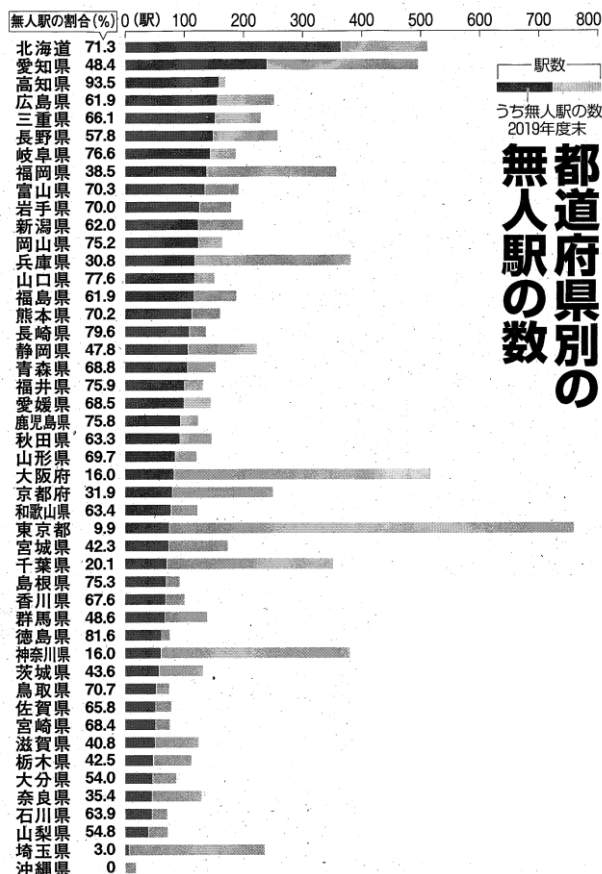
号数	月	Top Opinion	WS	VOICE (会員の声)	たすきリレー (OBからの伝言)	国際比較データ	PF書店
74	1月	・今井敬人(JR東日本) 令和時代を生きる鉄道土木技術者		・2020年各社トップの 年頭所感抜粋 ・斎藤 琢平(JRC) 金字塔5連覇達成!	・国内交通の覇者はどっちだ? 新幹線VSエアライン	①高レベルのAI人材はどこにいる ②キャッシュレス化 ③ビッグマックが高い国	①興ける建築 ②2030年の世界地図 ③大人のカタチを語ろう
75	2月	・斉藤親(PF理事) 東京都PT調査から 見えること	NEWS ニュースなことは: 8000円、996、ギグワーカー	・BIM/CIM入門	・妖精さん?	①アフリカ支援 ②若者の意識調査結果 ③2019年の国・都市国際比較	①駅格差 ②次のテクノロジーで世界はどう変わるのか ③朝・一日一生
76	3月	・杉山友康(京都大学) 令和時代最近の災害から 思うこと	これらからどう考えるか 山本卓朗(PF会長)	・津波被災地域の復旧 大口康(JR東日本復興企画部長)	・まちづくり建築士協会の事例 田中康夫(PF理事)	①地震と台風発生状況 ②有給休暇取得率 ③社会的孤立者の割合	①未育者と想定外 ②二重二重 ③かわいい夫
77	4月	・緒方英樹(鉄道建設) 「利他行」と「飲水思慮」に思う	・WS研修の課題図書	・富士山の高さ ・老後資金2000万円問題	・50年前(1970年昭和45年)	①住宅の広さ ②電子政府指数 ③英語能力指数	①県都市—あなたの街が眺まれる ②電子博士の本棚 ③成長抄
78	5月	・辻田満 (ロベルト・ネッソーワークス) ソーシャルビジネスと新紙幣	NEWS ニュースなことは:Gゼロ	・土本と市民社会をつなぐ CSV事業 辻田満 ・人類は感染症の流行と どう向き合ってきたか	・新型コロナウイルス禍、 そのあとの世界は、社会は、	①世界報道自由度ランキング ②主要国のエンゲル係数 ③離婚率	①東京のナゾ研究所 ②ビッグデータ探検団 ③外資の流儀 生きる会社の秘密
79	6月	・ユヴァル・ノア・ハラリ (ハーバード大学教授) 新型コロナが政治の分かれ道	・新型コロナ禍 隔された真実や 表裏論100年前にも	・マンマミーにおける新型コロナ ウイルス対策 松尾伸之(JIC)	・疲れる土・土には種類がある	①世界の都市人口 ②地下鉄路線延長と乗車人員 ③たばこの値段	①鉄道インフラメンテナンス問題 ②2020年6月30日にまたここで会おう ③地球に住めなくなる日
80	7月	・山本卓朗(未来構想PF) コロナ共存時代をどう生きるか …私達の救済「三重」とコロナ「三重」…		・まちなかウォークアップ 国交省	・データを基に世界を正しく見る習慣 (FACT FULNESS抜粋)	①世界の都市の監視カメラ数 ②GDPによる企業の能力指数の割合 ③4G/5G圏別必須特許出願シェア	①竹内薫の「科学の名著」案内 ②AI数独論 ③おとめ六法
81	8月	・野澤伸一郎 鉄道構造物の長寿寿命と情報の集約		・新型コロナウイルスによりもたら される新しい社会に向けて (モザイクをが加減する50分都市) 大松康(日産設計)	・山と土木が育んでくれた私の人生 元木龍雄(日本シビック)	①IT人材の平均年収 ②働き方の比較 ③駐在員が住みたい国ランキング	①旅のつばくろ ②AI数独論 ③旅として学んでおきたい5大旅
82	9月	・土井博己(未来構想PF) アフターコロナの まち・交通・鉄道	NEWS ニュースなことは :ワーケーション	・中国が覇権を握る 国際通貨基金	・あの年1987年(昭和62年) ・日本の観光地ランキング	①世界競争力ランキング ②実質賃金の推移 ③コロナ禍の世界 安全な国 ランキング	①一人称単数 ②アフターコロナ 30人の論者が予測する新常識 ③令和版 公共事業が日本を救う
83	10月	・朝日新聞シミュレーション2020.03.29 テクノロジーは進歩する 幸せはどこに	NEWS ニュースなことは :重伝送	・新幹線水没 運けられた失敗に学ぶ ・平均寿命と平均余命	・鉄印帳が人気	①主要国の鉄道輸送量 ②就業者の主要都市圏への集中 ③お掃除に費やす時間	①世界国勢総論・日本のすがた ②進路からの能力 ③徹底的に清潔で、道徳的な秩序 ある社会の不自由さについて
84	11月	・未来構想PF事務局 コロナ後に欠かさない力	NEWS ニュースなことは :シェイクアウト訓練	・アフターコロナ時代 都市とインフラの未来を考える 重永智之(バシコム) ・異性と性行為はDNA	・日本株が弱体化する原因	①主要国の民間航空輸送量 ②洗剤消費指数 ③世界の進業	①職種の科学 ②地形と日本人 ③未来を見る力
85	12月	・山本卓朗(未来構想PF) 未来構想PF10周年 —新たな活動に向けて—	・自主研究WS ・WS研修 ・技術講演会	・特集:PF10年のあゆみ	・無人駅	①人口1000万以上の都市圏 ②教員のITスキル評価	①コンパクトシティはどうつくる? ②実践 自分で調べる技術 ③2025年を制する破壊的企業

無人駅

駅員が終日いない「無人駅」の数が約 20 年間で 1 割増え、2020 年 3 月時点で全体の 5 割近くになっている。国交省がデータを取り始めた 02 年 3 月には全国で 9514 駅あり、うち無人駅は 43.3%にあたる 4120 駅であった。20 年 3 月の駅数は 9465 駅とほぼ変わらないのに、無人駅は 4564 駅と増え、48.2%を占めている。

経営状況が厳しい地方鉄道に加え、都市部でも、一部時間帯に限った日中だけ駅員がいる「時間帯無人駅」も広がっている。無人駅の増加に伴い、転落事故など安全面での課題も少なくない。各社は無人駅にインターホンを設置して別の駅から遠隔操作したりするが、障害者からは「鉄道を使うための介助に事前連絡が必要な駅があるのは差別ではないか」との声もあがる。駅が廃止されれば障害者も一般の人も使えなくなるが、それは障害者問題を越えた問題である。駅が無人化されると一般の人もサービス低下など不利益を被るが、障害者はそれ以上に、駅を使えなくなってしまう可能性が高い。

大分県では 2020 年 9 月、車いす利用者が駅の無人化によって移動の自由を制限されたのは違法だとして、JR 九州に損害賠償を求める訴訟がおきた。JR 九州管内の全 568 駅のうち無人駅は 304 駅。この十数年で約 1.3 倍に増えている。無人駅ではないが、九州新幹線全 12 駅中 8 駅のホームには駅員がいない。駅員が不在になり、電車の乗り降りに支障を訴える障害者も少なくなく、国交省は鉄道事業者向けのガイドラインづくりを始めた。



天声人語（朝日新聞 2020.12.01）に、無人駅に関する話題が掲載されました。

天声人語

目の不自由な人にとって、鉄道のホームというのは「欄干のない橋」だ。よく言われる例えである。そんな怖い橋を杖だけに頼って歩く。ひんばんに列車が来る駅であれば、危険さは橋どころではないかもしれない▼痛ましい事故がまた起きてしまった。おととい東京都内の地下鉄の駅で、視覚障害のある男性がホームから転落し、電車にはねられなくなった。ホームドアがすでに設けられ、あと3カ月はどこで運用が始まるどころだったという▼線路に落ちるのを防ぐホームドアの設置は多くの会社を取り組んでいるものの、鉄道全体としてはまだ道半ばである。設備に全てを頼るわけにはいかない▼鉄道は身近ゆえ、大事故の報道に触れるたびに自分がその場にいるかと考える。かつて東京の新大久保駅で転落した人を助けようとした人が亡くなった時には、自分にはそんな勇気はないだろうと思った。では白い杖をついている人を目で追うことは。手助けできることはないかと近寄っていくことは▼駅員のいない無人駅も全国で増えており、誰もが使えない鉄道という課題は重みを増している。作家の乙武洋匡さんがロンドンでの経験を本紙で語っていた。エレベーターのない駅では市民が何度も手を貸してくれたという。「車いすの人が困っていたら手伝うのは、財布を落としたり人に駆け寄って届けるのと同じ感覚のようでした」▼周りに人がたくさんいても誰からも注意を払われなければ、その瞬間そこは「無人の駅」になる。

2020・12・1

NEWS

■ニュースなことば

【2000 個問題】

厳密には「個人情報保護法制度 2000 個問題」。日本の個人情報保護は、民間を対象にした個人情報保護法の他、国の公的部門を対象とするものや自治体がそれぞれ制定した条令など 2000 個近い法律と条令により構成されている。それぞれの法律や条例は個人情報の定義や解釈などに違いがあり、それが個人情報の利活用や自治体間の連携などを阻害する要因となっていることを指して「2000 個問題」という。

2000 個問題は、医療や災害対策、テロ対策などの個人データの広域連携や利活用を阻む大きな要因の一つとなっていると同時に、定義や解釈の違いがビッグデータ利用や IoT 政策へ大きな影響を与えるとする指摘もある。

■計画・交通研究会が会報 2020-11 を発行

□鼎談 これからの国際物流戦略 2 日本の港湾におけるデジタルイゼーション

□対談 防疫と下水道 検知システム・維持管理にみる新たな技術

伊藤岩男（管清工業） 本田了（金沢大学）

【聞き手】 内海克哉（管清工業） 酒井由紀子（日本工営）

□Projects. 会員企業・団体百景 いきものにぎあう街—生物多様性都市への実現を目指して—
鹿島建設 高瀬健三

□News Letter 令和 2 年度「海外インフラ展開人材養成プログラム」オンラインでの開催

□Reports. 第 2 回イブニングセミナー

インフラメンテナンスの最新潮流 —測量の最新技術はここまで来た—

□Opinion. Beyond コロナ時代 新たなモビリティサービスと社会インフラ

*詳細は下記事務局にお尋ね下さい。

Email: jimukyoku@keikaku-kotsu.org

HP: <http://www.keikaku-kotsu.org>

■シビル NPO 連携プラットフォーム (CNCP) が会報 第 80 号を発行

- ◇今月の土木 かける北九州～大ブロック一括架設現場見学会～ 川田工業
 - ◇オピニオン インフラテクコンから広がる世界
 - ◇コラム ウイズコロナとアフターコロナの一考察 (その1)
 - ◇コラム わかり易い土木 第8回 防災と減災
 - ◇レポート 全国まちづくり NPO 調査結果報告 (その2)
 - ◇フレンズコーナー 仕事で遊ぶ～地域の人と共に楽しみたおす～
一般社団法人ツタワールドボク 代表理事 片山英資
 - ◇フレンズコーナー 土木ふれあいフェスタ
土木学会市民交流小委員会 黒川信子・清水陽子・川上佐知子
- *詳細は CNCP 事務局にお尋ねください。

Email: info@npo-cnep.org HP: <http://npo-cnep.org>

■最近の気になるニュース 岩井有人さん (JR 東日本) の Facebook より抜粋

① インフラ輸出 政府新戦略グリーン重視で 25 年までに受注 34 兆円 (12.11)

政府はインフラ輸出について 2025 年までの 5 カ年の新戦略をまとめた。脱炭素化とデジタルを新戦略の柱に。また首相によるトップセールスを年間 10 件以上とする目標は維持する。

② 米高速鉄道 21 年にも着工 (11.25)

JR 東海が技術支援している米国の高速鉄道計画が 2021 年にも着工の見通しに。米連邦政府は 11 月に今回の計画に必要な安全基準や環境影響評価を公示し、計画の実現に必要な手続きがほぼ終わった。総事業費 2 兆円規模の巨大プロジェクトは実行段階に移る。

③ 富士山登山鉄道構想、事業費約 1400 億円と試算 (12.03)

富士登山鉄道構想検討会の第 5 回理事会が永田町の参院議員会館で開かれ、構想の素案が示された。環境負荷の軽減や来訪者の平準化など構想の意義を明記したほか、総事業費や収支を試算し、実現に向けて検討すべき課題を列挙した。

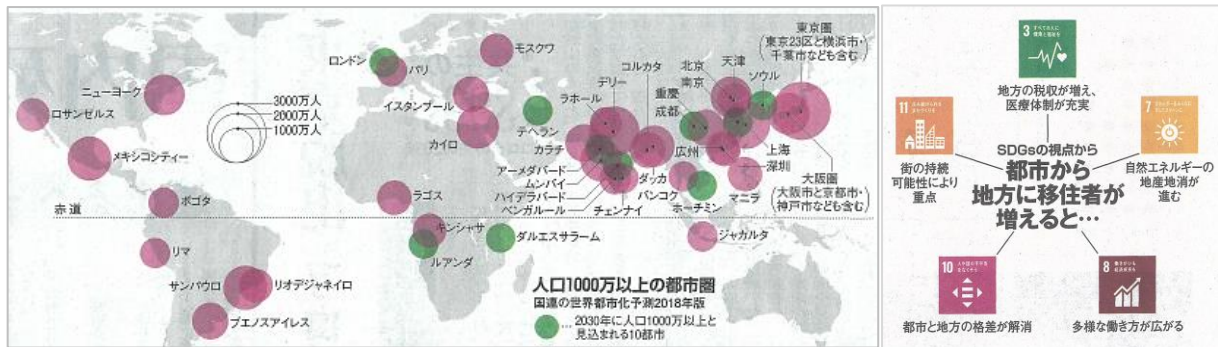
- ・時速 1000 キロの未来列車ハイパーループ実用化へ前進、初の有人実験 (12.12)
- ・JR 貨物、大型物流施設 22 年都内に、床面積が既存の 3 倍 (12.11)
- ・東京都、30 年までに新車販売すべて電動車に (12.09)
- ・ハヤブサ 2 のカプセル回収、オーストラリア砂漠に着地 (12.06)
- ・東京・日本橋の再開発が始動 (12.01)
- ・副業認める企業 3 割、会社員の 7 割「関心」 (11.28)
- ・ホームドア増設 全国 3000 か所に (11.23)
- ・日米豪と ASEAN、CO2 地下貯留で連携 (11.18)
- ・来年 3 月のダイヤ改正で旧国鉄の特急車両 姿消す (11.15)

今月の国際比較データ

① 人口 1000 万以上の都市圏 出典：朝日新聞 2020.11.23

20 世紀後半、世界は経済のグローバル化とともに都市の人口集中が進んだ。国連の推計によると、都市の人口は 1950 年時点で全人口の 3 分の 1 弱だったが、2007 年に半数を超えた。1 千万人以上のメガシティは、18 年の 33 都市から 30 年には 43 都市になる見込みだ。

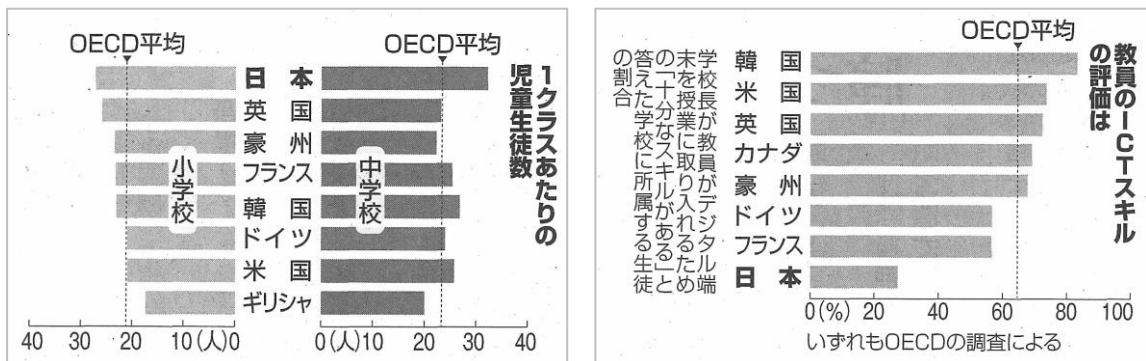
都市に本社を置く企業は多いが、コロナ禍で本社機能を地方へ移転させる企業も出てきた。今回のコロナ禍、脱・人口集中という世界転機となるかもしれない。



② 教員の ICT スキル評価 出典：OECD 「図表で見る教育」

OECD が 9 月に公表した 2020 年版「図表で見る教育」によると、18 年の日本の 1 クラス当たり児童生徒数は小学校 27 人・中学校 32 人。一方、OECD 加盟国の平均は小学校 21 人・中学校 23 人だった。新型コロナウイルスの世界的流行により、20 年前半は各国で休校措置が取られたが、1 クラス当たりの児童数が少ない国では学校の再開が容易だったという。

OECD が 19 年に公表した調査から、中学校の授業などで生徒に配る ICT（情報通信技術）を「いつも」もしくは「頻繁に」使わせている教員の割合は、OECD 平均が約 50% だったのに対し日本は 20% 以下。現在文科省は小中学生全員に端末を 1 台ずつ配る「GIGA スクール構想」を推進しているが、別の調査では、学校長が、教員がデジタル端末を授業に取り入れるための十分なスキルがあると答えたのは、OECD 平均が 65% だったのに対し、日本はわずか 27% だった。



PF書店

① コンパクトシティはどうつくる？ 竹村 登著 NSRI 選書

コンパクトシティは都市のスプロール化を抑え、持続可能な都市づくりの空間形態として、EU 諸国で生まれた概念とされている。コンパクトシティに求めるものは、世界各国それぞれの都市によりさまざまであるが、著者は、人口減少と超高齢社会を見据え、また地震や水害など災害に強いまちづくりのために 1990 年代から取り組んできた。

- 第1章 どうなる、日本の近未来都市
- 第2章 人口減少でも元気な都市へ
- 第3章 活力あるまちづくり
- 第4章 コンパクトシティの夢をかなえよう



② 実践 自分で調べる技術 宮内泰介・上田昌文著 岩波新書

この本で扱うのは、広い意味での「調べる」こと全般。

複雑な世界の問題を、国家や専門家に任せず解決するため、自分で調べようと、環境社会学者と NPO 市民科学研究所の代表理事はいう。調査の設計、文献・資料、聞き取り、データ整理や発表の仕方を説明。2004 年の宮内著を全面改訂し、「リスクを調べる」の章を加えた。



③ 2025 年を制覇する破壊的企業 山本康正著 SB 新書

刺激的な内容、その目次を以下に示す。

- ・ 5 年後の未来はこの 11 社が決定づける。
- ・ 通勤は電車の 200% コスパのいい “ロボタクシー”
- ・ 出張先の宿はアップルホテル
- ・ AI 先生、小学 2 年生に九九を教える
- ・ アレサクッキングシェフご用達の大豆肉ステーキ
- ・ 100 万通りのシナリオがある「愛の不時着 2」
- ・ ニューヨーク金融機関×ハーバード大学院理学修士×元グーグル×ベンチャー投資家 による未来予測
- ・ GAFA だけ見ているのは日本だけ



事務局通信

◆今月号は10周年記念特集としました。主な活動記録を掲載しましたがいかがだったでしょうか。もう一度見てみたい資料等があれば事務局までご連絡下さい。できる限り対応いたします。

◆未来構想PFのホームページをご覧ください。

会員はもちろん社会に大きく開かれたPFを目指し、参加型HPとして
います。未来構想PFで検索して下さい。 <https://miraikoso.or.jp/>

HP トップページを紹介しますが、サポーター登録して頂ければ、PF通信
全号をご覧いただけます。



プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。
連絡先：未来構想PF事務局 土井 携帯:090-9150-8613 メール：info@miraikoso.or.jp
〒100-6005 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル5F-28